

# 成功 交流 支部間 初の 結成 支部 鉦子 労働 千葉



82.3.29

No.1004

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(電話)二九三五・六(公衆)四三二七・二〇七

## 動労千葉の旗のもと、いさいさ

3月28日三里塚現地総決起集会を数日後に控えた23日13時より、鉦子運転区乗務員詰所で、動労千葉各支部の代表が参加して動労千葉鉦子支部との支部間交流集会が開かれました。昨年6月25日に、動労千葉の第11番目の支部として結成された今日まで9ヶ月間、所帯は小さくとも意気軒昂と叩きぬいていく鉦子支部組合員と各支部の役員・活動家や本部役員が一堂に会し、いさ国鉄にかけられていく権力・マスコミ一体となった攻撃と対決し、動労本部革マル分子による組織破壊攻撃を粉碎し、動労千葉の方針である「82三里塚反台春闘」のもとに叩いていくことを確認しました。

### 「いさいさ」情勢を本部山口副委員長が提起

交流会は鉦子支部組合員の多数の参加の中で始められ、本部を代表して山口副委員長が、情勢および今日の反国鉄キャンペーンについて発言に立ち、「いま国鉄に対し、政府、自民党からマスコミまでまきこんで総動員し、『ヤミ超勤、ヤミカラ、ホカ休』などの『悪慣行』の是正』等々国鉄労働者に対し、次々と攻撃が加えられていくが、国鉄当局はこれを利用して、『職場管理委員会』なるものを設置し、攻撃を始めていくが、永年にわたって先輩達が築き上げてきた労働条件の慣行は絶対守りぬいていく。また千葉局における当面の課題である営業三事業の取組みや検修民託化など次々とかけられてくる合理化攻撃に対し、断固として叩きぬいていく旨の報告がされました。

### 「既得権・慣行は断固守れ」鉦子宮崎支部長

続いて受入れ支部・宮崎支部長が挨拶に立ち「すでに鉦子運転区においても、職場規律云々と当局が言いはじめている。動労東京地本ではすでに組合の方から『ワッパン・リボン』をはすせ』『ネクタイをきちんとして、帽子はかぶろう』等々と、当局の指示に全面的に従い率先実践しよう」と委員会が決定したと言うが、全くナンセンスだ。ゆいゆいは、これまでのマル生粉砕闘争や運転保安闘争で勝ちとってきた既得権や慣行を守りぬいていく」とこの決意を述べ、全員で確認しました。

### 支部間交流の大切な意義

また交流会の意義について吉岡組織部長

から報告され、**オ二**に、動労本部革マル分子が3月23・24日に策動した「関東支部間交流」**〓**動労千葉破壊を粉碎し完全に勝利したこと。**オ二**に、動労本部115回定中で、革マルの手先土屋が「千葉は3月1日の処分で、組織的、財政的破綻におち入っている。キャンペーンだ。全国オルグで破壊してほしい」と発言し、本部革マル反動分子を引きこんで動労千葉破壊を策すという腐敗をさらけ出した。粉碎しう。**オ三**に、この交流会を通して鉦子支部との組織強化を一層推進できたこと。

以上の確認の上に立って、「いま国鉄にかけられている政府・自民党・マスコミ一体となった攻撃は国鉄労働運動解体が目的である以上、粉碎しなければならぬ。また『行革』や二臨調からの赤字を理由とした国鉄の『民営・分割論』『三五体制』をさらに押し進め『更に国鉄20万・25万人体制にまでせよ』との恫喝の攻撃がかけられている。また、その狙いが戦線的労働運動に国鉄労働運動破壊攻撃は明白である限り粉碎しなければならぬ。この提起を確認し、各支部全代表の発言をうけ、活発な自由討論に入った。

### 「厳しければより原則的な叩き」を全体で確認

国鉄労働運動にかけられた、この未曾有の攻撃を一つ一つ職場の大衆的な討論と叩いていくと、と、とりわけ、当局の尖兵になり下って叩く労働者に驚い、かかる「この運動」の推進者「本部革マル反動分子を全職場から一掃すること、千葉の地から土屋第一派を一掃することを確認し、約三時間にわたる交流会を成功裡に終了した。

／＼を粉碎せよ。組織破壊攻撃を組織の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ。／